第３８回　高校生英語弁論大会　開催要項

１　目的　　　将来を担う高校生が、国際理解、国際交流、国際協力、国際ボランティア活動などに関する主張を英語で発表することを通して、国際教育への興味・関心を高め、国際感覚豊かな生徒の育成を目指すことを目的とする。

２　日時及び日程 　平成３０年８月７日（火）

 ９時００分　　受付

９時１５分　　出場生徒への事前説明

１０時１５分　　開会行事

（１）開会の言葉

（２）審査員紹介

（３）審査基準・審査要領説明

（４）発表順の発表

　　　１０時２０分～１２時３０分　英語・日本語弁論大会

１６時５０分　　審査結果発表及び表彰

 　 　　　（５）講評及び表彰式

 （６）閉会の言葉　（閉会後記念撮影）

３　会場 　　国際協力機構（JICA）地球ひろば（東京都新宿区市谷本村町１０－５）

４　大会規定

（１）弁論内容

弁論内容は、国際理解・国際交流・国際協力・国際ボランティア活動等に関するもの。演題は自由。高校生としての主張を含み、未発表原稿であること。

国際協力、国際交流などに関する生徒自身の体験（授業や部活動などで学んだことや主体的に調査研究した事柄も含む）を通じて考えたことや、地球環境や世界平和などに関して自分の考えを英語で弁論することが望ましい。在外経験や留学体験のある生徒は、その経験や感想にとどまらず、自分の経験と諸問題などと関連させた弁論を行うことが望ましい。

（２）参加資格

【英語弁論大会参加資格（以下のすべての条件を満たしていること）】

○各都道府県の国際教育研究協議会に加盟する高等学校の生徒

○各都道府県の国際教育研究協議会及び各ブロックにおける選考会を経て選出された生徒

○英語を母語としない生徒、または日常生活で英語を使用していない生徒。在外経験は特に問わない。

（３）参加者

各ブロックの代表１名（関東甲信越静地区は2名）及び開催地東京都の代表１名　計９名

ただし欠員が生じた場合は、各ブロックの次点など大会事務局で調整する。

（４）弁論時間

４分３０秒以上、５分以内であること。ただし、時間に満たない場合および時間を超過した場合

には減点の対象となる。

（５）審査内容

次の項目を総合して審査する。

**【**論旨７０点】　・トビックの選択（１０点）・文章構成（２０点）・内容の独創性（２０点）・説得力（２０点）

【態度１５点】　・姿勢・視線・熱意

【音声１５点】　・声の大きさ・発音・流暢さ、抑揚、リズム

（６）表彰 　　外務大臣賞 （１名）

 　　文部科学大臣賞 （１名）

 　　国際協力機構理事長賞 （１名）

 　　国際交流基金理事長賞 （１名）

 　　日本国際協力センター賞 （１名）

 　　全国国際教育研究協議会会長賞 （若干名）＊全員に会長賞を授与

（７）審査員　　　　外務省

 　 文部科学省

独立行政法人　国際協力機構（ＪＩＣＡ）

独立行政法人　国際交流基金

　　　　　　　　　　一般財団法人　日本国際協力センター（ＪＩＣＥ）

 　 東京都教育委員会

 昭和女子大学講師（ネイティブ）

５　参加申込

発表要旨・原稿を、次のアドレス宛に送信してください。　※プログラムの原稿となります。

メールの表題は「英語弁論申込・県名・高校名」としてください。

（例：「英語弁論申込・東京・五日市」）

Shunsuke\_Nakamura@education.metro.tokyo.jp

※発表要旨・原稿の締め切りは、７月６日(金）とします。

なお、様式は、次の通りです。

1. Ａ４版縦、文字は全角４０字×４０行　和文はＭＳ明朝、英文はcentury、文字サイズは１１ポイントとします。
2. １行目に英文タイトルを左詰めで、２行目に日本文で学校名（略記しない）・学年・氏名を記載してください。

③　氏名等の行の後、１行あけて発表原稿を記載してください。そのあと１行あけて、日本語で発表要旨を５行程度で記入してください。

④　発表原稿のファイル名は「英語弁論原稿・県名・生徒氏名」としてください。

（例：「英語弁論原稿・東京・中村　俊佑」）

　　　　　⑤ 小道具は使用せず、ジェスチャーや声などを使って工夫するものとする。

⑥ 発表時には、原稿を持ち込まないこととする。

　　　　　⑦ 発表内容は提出する原稿と同一内容とする。